

**JCD**

**Kansai**

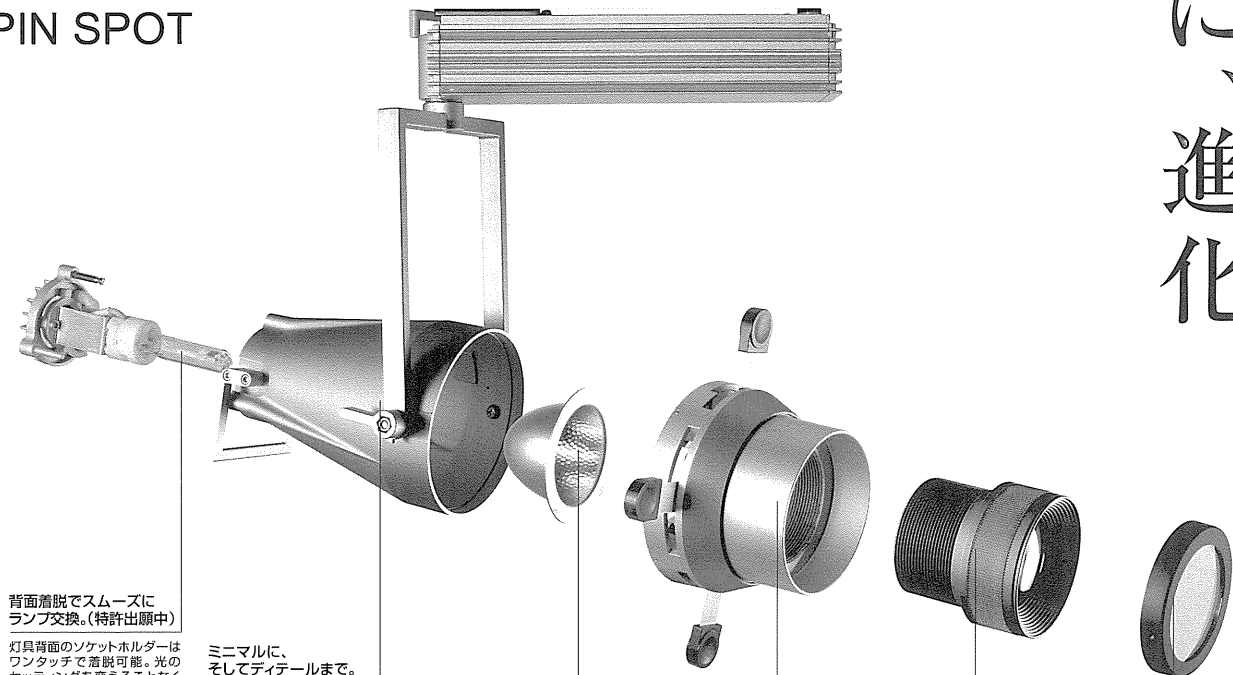
**2004.9.Vol.56**



tecnico CORSO  
ディーテクノ コルソ

さらに、進化

PIN SPOT



背面着脱でスムーズにランプ交換。(特許出願中)

灯具背面のソケットホルダーはワンタッチで着脱可能。光のセッティングを変えることなくランプ交換がおこなえます。

ミニマルに、そしてディテールまで。

アルミダイカストから生まれたエッジの効いたフォルム。ボディだけでなくアームやネジの一つまでもカタチにこだわりました。スポットからダウンライトまで変わることはないミニマルなシェイプ。

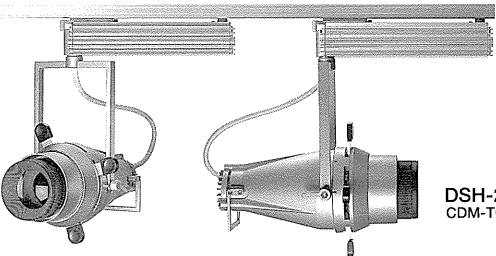
ランプ特性をムダなく引き出す反射板。CDMシリーズやマルチレイアシリーズなどの特性を生かした反射板設計で光を効率よく対象物へ照射します。

光にカタチを与えるフリートリミングカッター。

ハンドル操作でイージーオペレーション。不要な光を的確にカットすることで、対象物へのライティングの精度が上がります。

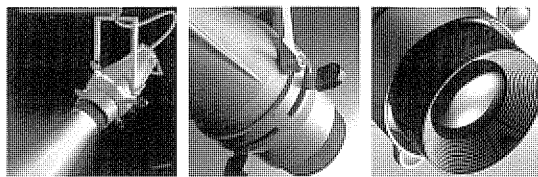
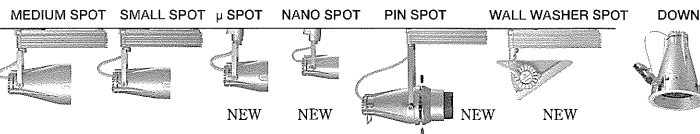
光を確実にコントロールするフォーカシングレンズ。光学設計された反射板とレンズの組み合わせで、ムラのないステディな光を微細なレベルまでコントロールできます。

オプションフィルター  
カラーフィルターで演出力が高まります。



DSH-2219XS (メタリックシルバー)  
CDM-TC 70W (G8.5)

コルソ、新機種追加



待望の新カタログ——好評発刊中

商業施設用照明総合カタログ 新製品 約800点 総掲載点数 約3,700点 総頁数 880ページ

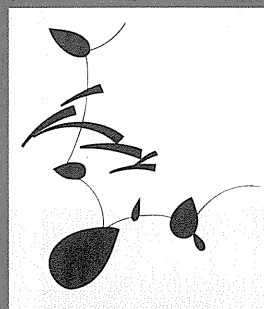


商業施設用照明器具と空間演出例を満載。  
第一線で活躍中の建築家やデザイナーなど世界のトップクリエイターによるオリジナル照明や次世代光源として注目を集めるLED照明などの最新器具から、人気のスポットライトやベース照明まで、商業施設用の照明器具を豊富に掲載しております。



JCD  
Kansai  
2004.9  
Vol.56

[表紙・デザイン]  
コスミックモビール  
ミノ・クレエ 友田みのり



2004年(平成16年)9月号  
vol.56 平成16年9月1日発行  
発行/社団法人 日本商環境設計家協会  
関西支部  
〒559-0034  
大阪市住之江区南港北2-1-10  
ATCビル ITM棟10階A-1  
(財)大阪デザインセンター内  
Tel./Fax. 06-6613-5557

広報委員会  
指導相談役/郷力憲治  
委員長/前田穂積  
副委員長/久保茂 友田みのり  
岡島昇 寺井義和  
委員/原川公一 一色勝美  
権藤旭 佐藤史仁  
桜井敬三 藤谷明正  
山田常寿 三宅雅夫  
平岡孝啓

印刷/あいであプリンティング株式会社

社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部  
JCD KANSAI 2004年9月 第56号

04 ● REPORT  
(社)日本商環境設計家協会関西支部 平成16年度活動方針

関西支部 新支部長挨拶 白井 進  
関西支部組織図  
関西支部賛助会員  
関西支部正会員

06 ● 特集  
JCDデザイン賞2004

JCDデザイン賞2004を振り返って 郷力 憲治  
JCDデザイン賞受賞作品紹介  
審査を終えて 杉本 貴志  
日本が日本を消費している 原 研哉  
関西からの受賞者紹介

10 ● 特別連載企画  
「これで商店街は蘇るか?」今里新橋通り商店街PART-2

JCD広報委員会誌上コラボレーション

14 ● ヴィジョン委員会報告  
「ヴィジョン委員会とは?」

ヴィジョン委員会とは 末浪 伸浩  
第89・90回コアトーク in OSAKA 中尾 晋也

16 ● 研究委員会報告  
研究委員会小セミナー

「雑誌編集における写真とデザイン」 久保田 博文

18 ● 連載  
WORKING NOW

初期段階から完成まで 羽原 清明・三宅 雅夫  
今までとこれから 平岡 孝啓

19 ● 連載  
endress mrathon communication

中国支部 支部長 西原 勝  
東北支部 支部長 伊藤 清志

20 ● 報告  
JCD関西支部活動報告

関西支部総会 市川 邦治  
JCD Beer Party 亀井 克二  
新緑のるるぶ会 小宮 容一

日本商環境設計家協会関西支部 新支部長挨拶

白井 進



『次世代を担う人材の輩出』というキーワードでニューリーダーの委員長主導で委員会体制をスタートさせて4ヶ月が経過しました。4委員会の委員長は連絡会議(支部役員会)で、それぞれの動きを確認しながら会務をスピーディーに実行に移し、すでにいくつかの成果を上げてきましたので、ここで皆様にご報告します。

■次世代を担う人の引き出し

新入会員 9名獲得(内、女性3名 理事会の承認待ち、及び入会手続き中を含む)新入支部賛助会員 2社獲得

■新入会員や若い世代が参加しやすい環境づくり

各委員会共催のミニセミナーや談話サロンなどを継続的にを行い、親睦だけの目的にとどまらず、質の高い知性的な環境づくりが進んでいる。

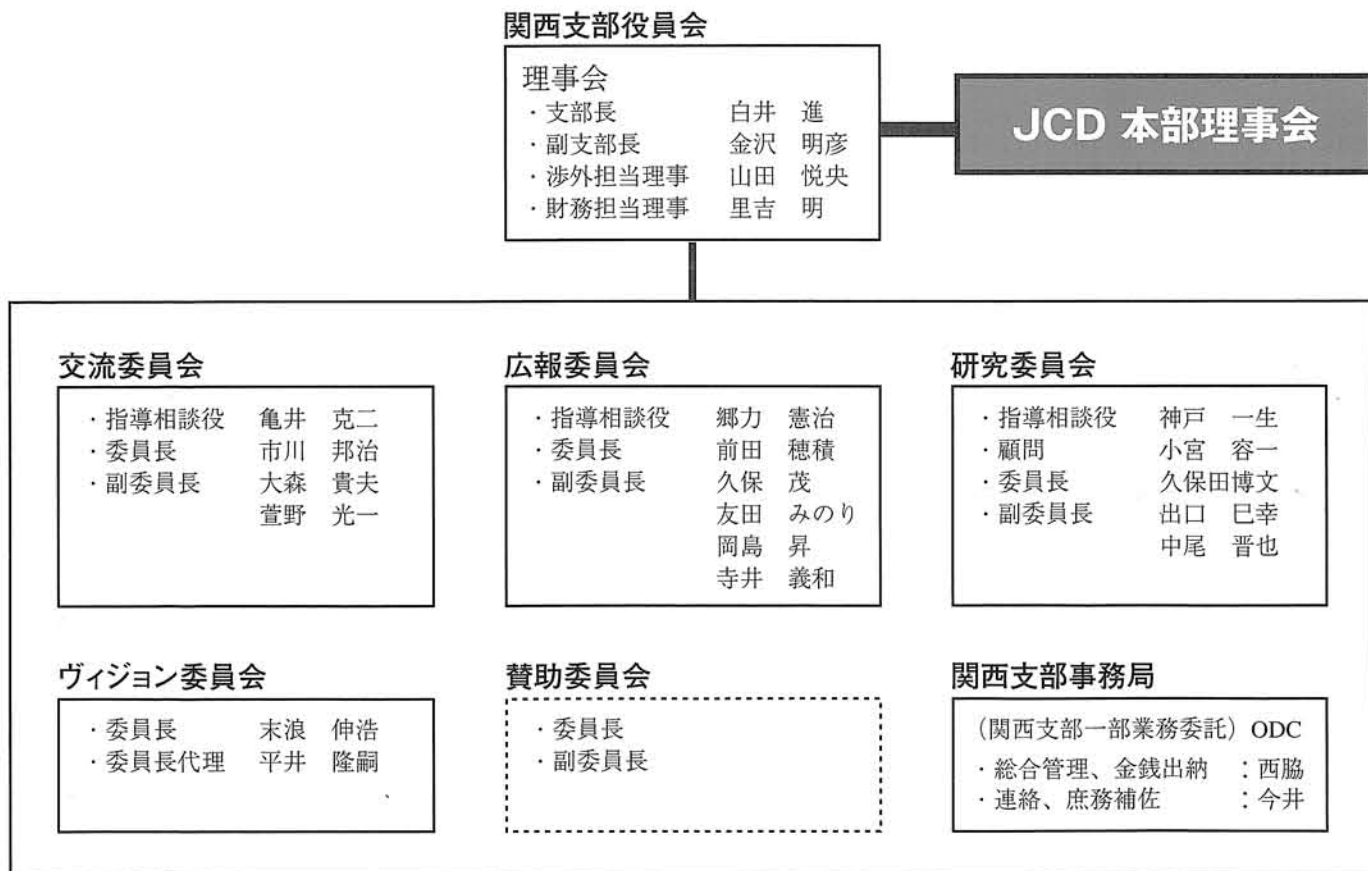
■協会外との交流強化

支部会員へのビジネスチャンスの供給を検討。(商店街への店舗アドバイザー派遣など)デザイン系各種学校との連携(産学共同事業)に対応し、若手デザイナーの育成を検討。

■「役に立つJCD」をめざして

40数年を経たJCDは、個々の会員の理想や価値観が一つではなくなり、多岐にわたる今、会員が共通の方向性を見失わず共有することができれば、JCDの存在は意味を成し、また会員としての意味は、自己完結のない、常に周囲や社会全体との関係から生まれてくる商環境にかかわっていて初めて見出せることのように思います。少しずつではありますが以上のような考え方のもとに、よりよいJCD『役に立つJCD』の確立をめざして頑張っておりますので皆様のあたたかいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成16年・17年 関西支部組織図



関西支部賛助会員

特別賛助会員	社名	担当者所属部署	担当者	住所	TEL
特別賛助会員	松下電工株式会社	ナショップ事業部 営業企画G	グループ長 山塚 昭三	571-8686 大阪府門真市門真1048番地	06-6908-7836
普通賛助会員	株式会社キノシタ 大阪本社		常務取締役 山田 正文	556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4-9-22	06-6644-5541
普通賛助会員	小泉産業株式会社	照明分社近畿店舗営業部大阪開発室	山川 喜久	541-0051 大阪府大阪市中央区備後町3-3-7	06-6266-4821
普通賛助会員	株式会社サンゲツ 大阪店	営業開発課	係長 広瀬 明雄	660-0857 兵庫県尼崎市西向島111-4	06-6414-3311
普通賛助会員	大光電機株式会社	経営戦略室販促広報部	部長 中尾 晋也	537-0025 大阪府大阪市東成区中道3-15-16	06-6972-6280
普通賛助会員	株式会社タジマ 大阪営業所		安城 英美	550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-10-5	06-6441-5951
普通賛助会員	株式会社日照		代表取締役 安田 宜弘	566-0035 大阪府摂津市鶴野3-8-7	072-634-1231
普通賛助会員	マックスレイ株式会社	大阪支店 営業部	課長 永井 一夫	536-0014 大阪府大阪市東成区鳴野西4-6-22	06-6967-0123
支部賛助会員	泉株式会社	繊維技術部業務課	課長代理 安藤 裕輔	530-0005 大阪府大阪市北区中之島3-3-3	06-6448-6157
支部賛助会員	エム・エス・ケーニシダ工業株式会社	営業部	坂口 佳樹	557-0045 大阪府大阪市西成区玉出西1-18-16	06-6661-9800
支部賛助会員	シンコー株式会社	第二事業部 設計販促課	課長 山本 康孝	577-8525 大阪府東大阪市長田東3-3-16	06-6747-5291
支部賛助会員	太陽工業株式会社	空間デザインカンパニー	TMグループ営業担当 藤原 充	661-0012 大阪府大阪市淀川区木川東4-8-4	06-6306-3078
支部賛助会員	株式会社アドヴァン	大阪支店	西 潤也	542-0082 大阪府大阪市中央区島之内1-21-22	06-6245-0975
支部賛助会員	株式会社ティーオーエーカーワークス	営業部	取締役営業部長 久米川 斎	555-0001 大阪府大阪市西淀川区佃1-1-36	06-6474-1370
支部賛助会員	ニチエ株式会社	営業部 営業二課	係長 辻倉 暁	532-0033 大阪府大阪市淀川区新高1-6-28	06-6399-6601
支部賛助会員	株式会社ロイヤル	営業本部	石倉 一成	577-0012 大阪府東大阪市長田東1-4-15	06-6789-1234

関西支部正会員

氏名	勤務先	氏名	勤務先
赤松 良一	株式会社ジオ・アカマツ	出口 巴幸	株式会社エフ・ビー・シー大阪オフィス
足立 和夫	株式会社フレスコ	寺井 義和	有限会社 寺井共創研究所
荒畑 肇	荒畑・商環境デザイン研究所	友田 みのり	MINO CREER (ミーノ・クレエ)
磯崎 敏男	日建店創	中尾 晋也	大光電機株式会社
猪多 勉	株式会社オリゾンティ	長尾 孝雄	有限会社マド・インテリアデザインオフィス
板垣 順治	株式会社エーアンドアイデザインルーム	長岡 茂	(協)都市設計連合・西脇設計
市栄 成俊	株式会社桜井エンジニアリング	中津 正蔵	総合空間研究所
市川 邦治	松下電工株式会社 照明デザイン室	中塚 重樹	株式会社アルクインターナショナル
一色 勝美		中村 哲也	株式会社船場 大阪設計事務所設計部
稲垣 仁志	大和商事リース株式会社 神戸支店	西澤 嘉信	株式会社アビタ建築デザイン事務所
岩本 勝也	岩本勝也+エンパディ・デザイン・アソシエーション	西村 克巳	株式会社丹青社 関西支店
内田 巧	株式会社都市設計連合	野井 成正	野井成正デザイン事務所
馬田 勲		野村 武彦	株式会社 ジオ・アカマツ
老田 徳廣	ヒロデザイン事務所	野村 充	竹中工務店 大阪本店設計部
大菅 満義	大菅建築デザインルーム	橋本 健二	橋本健二建築設計事務所
大森 貴夫	株式会社 近鉄百貨店	畑中 敏行	株式会社エイッチ・ツー・オー
大和 和男	オフィス トライアド	羽原 清明	ビー・イー・テクノロジー株式会社
岡島 昇	株式会社スペース	原川 公一	有限会社原川公一商環境計画研究所
奥野 道郎	株式会社AUC(オーク)計画研究所	原田 隆夫	原田デザインルーム
鹿嶋 圭三	株式会社ジオ・アカマツ	平井 隆嗣	平井隆嗣事務所
金沢 明彦	株式会社ゼニヤ大阪支店 デザインセンター	平岡 孝啓	平岡建築デザイン一級建築士事務所
要 信行	ホロニック・パラダイム研究所	廣内 良明	株式会社ハビック
亀井 克二	有限会社エーディーエー	廣川 啓智	株式会社ユニオン・アート・ジャパンコーポレーション
萱野 光一	有限会社ウィッツコーポレーション	藤井 清幸	藤井設計事務所
川崎 義広	プロペラ インテグレイターズ	藤谷 明正	藤谷デザイン事務所
神原 龍二	株式会社日展	藤村 正継	CN-JAPAN/株式会社クリエイティブネットワーク
神戸 一生	都市商業研究所	前田 穂積	株式会社乃村工務社 商環境カンパニー
吉川 智越	株式会社ティーエム	前田 泰弘	オフィスマエダ
久保 茂	株式会社乃村工務社 商環境カンパニー	前宮 吉彦	株式会社インフィクス
久保田博文	株式会社まちかど企画	見崎 征之	株式会社ミサキデザイン
栗山 功	株式会社 栗山商空間研究所	道下 浩樹	道下浩樹デザイン事務所
郷力 憲治	株式会社乃村工務社 商環境カンパニー	南原 利廣	株式会社ミキシング
小宮 容一	アトリエK&K	三宅 雅夫	ビー・イー・テクノロジー株式会社
権藤 旭	ギルド	三輪 清茂	株式会社アグリ
酒井 浩司	S I A i n c	元山 英弘	株式会社サクラアートエンタープライズ
桜井 敬三	株式会社電通 関西支社プロモーション事務局	森井 良幸	株式会社カフェ
笹木 秀近	株式会社アイデア	森田 昭一	株式会社スペース 大阪本部
佐藤 史仁	株式会社コンプレックス	山口 明	有限会社デュオ
里吉 明	DOING design	山口 雅史	株式会社サン・スペース
嶋原 英夫	嶋原デザイン事務所	山田 悦央	株式会社ビクデザイン事務所
白井 進	有限会社 現代店舗	山田 常寿	株式会社 ジオ・アカマツ
末浪 伸浩	デザインングプロデュース アルゴ	山本 喜三郎	株式会社フジタカ
菅野 哲爾	ティーエスプランニングオフィス	横山 和夫	株式会社サン・クリエイション
杉山 栄一	有限会社マン・スギヤマ・デザインルーム	横山 一博	株式会社大洋工業
高城 茂四郎	MAXスペースデザイン	吉岡 憲司	レンゴオ設計事務所
塚田 佳弘	ティーズデザイン	吉実 進	
遠 襄	ツジ店舗設計事務所	吉田 博文	スウォッチグループジャパン株式会社
辻川 正信	株式会社ジオ・アカマツ	米澤 研二	株式会社日建スペースデザイン(大阪設計室)
辻村 久信	有限会社ムーンバランス	渡邊 彰	株式会社英進
辻村 保計	株式会社ジオ・アカマツ		

(以上50音順 平成16年7月末現在)



### JCDデザイン賞2004を振り返って

JCDデザイン賞委員会 郷力憲治

「JCDデザイン賞2004」は会場を表参道TNプローブから五反田の東京デザインセンター・ギャラリーB2にかえて、6月15日(火)午前10時第1次審査が始まりました。

吹き抜けのある会場は細長く、各部門ごとの作品は横長にセッティングされ、各審査員は横一列となり一定のインターバルを確保しながら、それぞれのボードを丁寧に審査していった。

今回の特別審査員はグラフィックデザイナーの原 研哉氏で、空間デザインにも幅広く関与されて造詣深く、審査における戸惑いがない反面、作品内容の細部についてはかなりの精度を要求されているのが読みとれた。他の審査員諸氏は昨年同様に杉本理幸、飯島(新)理事長兼デザイン賞委員長、近藤康夫会員、橋爪紳也氏、青木淳氏と、お馴染みのメンバーが参加された。

昨年からJCDデザイン賞に海外にその募集の門戸を拡大し、優秀な作品を獲得することができた。今年も昨年の応募数に迫る28点の応募を得て、国内応募作品336点と併せて364点となり、ほぼ昨年と同数の応募総数となった。

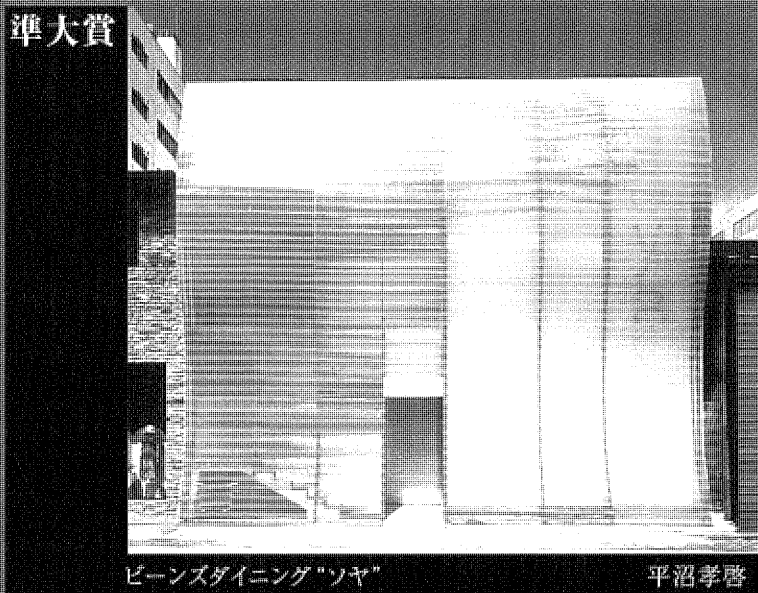
例年通り午後1時に公開審査となり、各部門の大賞候補をめぐる各賞選考に入ると、各審査員同士の議論が長時間数度にわたり行われたが、意見の収束が図られることは無く、最終選考に「ビーンズダイニング"ソヤ"」「コインランドリー」「LANVIN BOUTIQUE GINZA」「Natural Laundry Boutique」の4作品が残った。大阪北堀江の木材倉庫をコンバージョンしたレストラン「ソヤ」と東京銀座の「LANVIN BOUTIQUE」がそれぞれに賛否、審査評を二分して度重なる議論の末、大賞を選考することは出来なかった。あえて大賞を選ばず、その指抗を積極的に表明することが「今年のJCDデザイン賞の批評的な価値になるだろう」という審査員全員の合意により、この2作品を準大賞とした。また、原 研哉賞には「日常的で身近な存在を簡潔に纏め上げた「コインランドリー」のデザイン姿勢を強く推しての受賞とし、審査員特別賞には「Natural Laundry Boutique」と「Taiwan Foundation for Democracy」の力強い海外デザイン2作品に確定し審査会を終えた。

今回の審査会で交わされた様々な議論のなかで、審査員それぞれの想いのなかに今日の日本におけるデザイン行為に対する寂然としない希薄さや、不確かでガラスのような存在感に向かう意識などの心の葛藤をめぐる声を出して、アジア近隣のデザインにおける強さのある意識との相違を感じた観衆も多かったのではないだろうか?



準大賞

[LANVIN BOUTIQUE GINZA] 中村拓志



準大賞

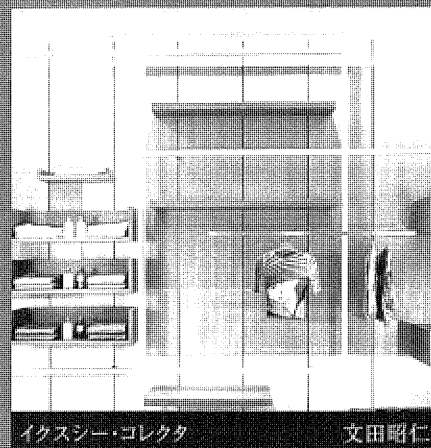
ビーンズダイニング"ソヤ" 平沼孝啓



原研哉賞

コインランドリー 板東 稜

### 優秀賞



イクスシー・コレクタ 文田昭仁



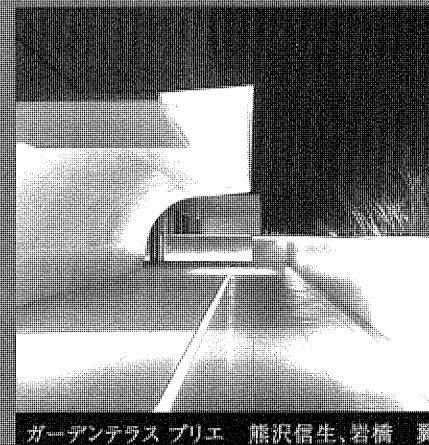
エム・アイ・ディーショップ 文田昭仁



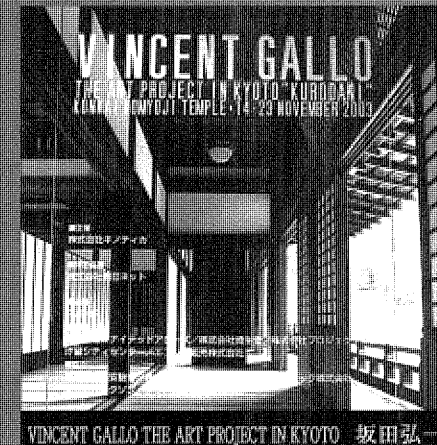
kitchen+cafe Cu-ve 長坂 常



ビジョン プラス 根津武彦、沢瀬 学



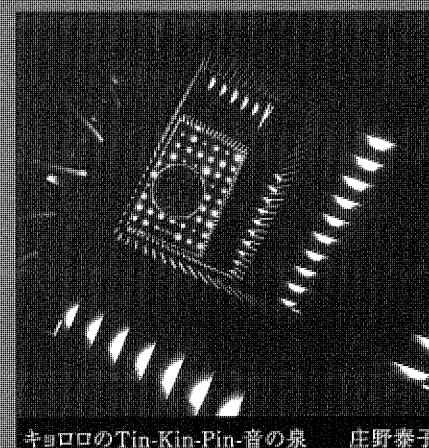
ガーデンテラス プリエ 熊沢信生、岩橋 翼



VINCENT GALLO THE ART PROJECT IN KYOTO 坂田弘一



暗箱2 佐々木一泰、松原美恵



キョロロのTin-Kin-Pin-音の泉 庄野泰子

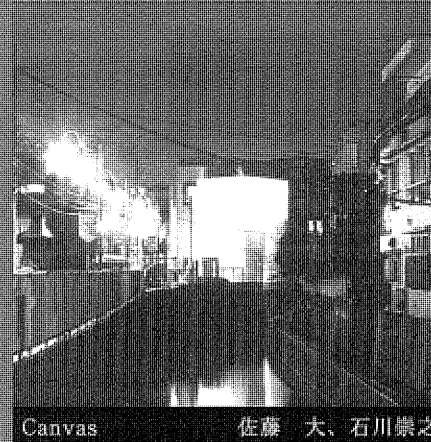
**審査員特別賞(外国作品)**

- Natural Laundry Boutique  
Hsueh-Chien (台湾)
- Taiwan Foundation for Democracy  
Jou Min Lin (台湾)

**優秀賞(外国作品)**

- BOBES BAKERY  
Ewha Yoo (韓国)
- BEING Health Club  
Ming YingLu (台湾)

### 新人賞



Canvas 佐藤 大、石川崇之



MARUTAMA BUILDING REMODELING PROJECT #1 野口和之

**JCD DESIGN  
AWARD  
2004**



審査を終えて

今回は結果としては、大賞該当なしという事で、二つの作品を準大賞とし、特別審査員であった原研哉氏が一作を特別賞という事で、確定したのであるが、その事を審査員の間で議論しながら、賞という事の意味、或いは、それぞれの審査員の価値感の持ち方の微妙な差を通じて、様々な思想が堆積した現代という社会に潜む曖昧さ、或いは、密度の異なるガラスを通す光線の様な各個人の持つ意識の揺れの様なモノが感じられた様に思う。

「LANVAN BOUTIQUE GINZA」

この空間を作り上げた技法、そして、その結果としての見え方は新鮮である。今までの限界がある意味では抜け出してもいる。しかし、私にはそれ以外のメタファを与えない。発酵するものがなく、ドライで濁っている。近年、大変気になっている事なのだが、全てを軽く、透明にするのは、それが目的であるのではなく、余分なモノを取る事で見えなかった本質を見たいからに他ならない。概念化された情報を綺麗に

審査員 杉本貴志

配列させる事ではない。この様なシーンに揺さぶられる自分、或いは、他人は、考え難いのである。

「ビーンズダイニング“ソヤ”」

この倉庫が、ゆるやかに解体されつつある時間に連動してこの空間が存在するのだとすれば、ドラマティックである。インテリアデザインの持ちうる魅力的な本質の一つでもある。空間は存在し続ける事よりも、存在した事実が認識される事に意味があるのである。

「インランドリー」

敢えて言えば、この数年来、こういった素の空間の評価が高い。この空間の実在そのものより、各審査員にとって、商業空間を評価しようとする意識に、どうしても入り込んでくる島藤の様な事なのだろうか、或いは、付きまといがちな灰汁の様な何かを嫌うのかも知れない。しかしそれは、切り取ってしまう事ではなく、新しい地平を感じさせる事なのではないのだろうか。今回の審査は私自身をも揺らしている。

日本が日本を消費している(審査評)

現在、中国には猛烈な勢いで、クリエイティブのエネルギーが蓄積され続けています。現在進行しているプロジェクトのいくつかを散見しただけで、それに関わっている人々の知的な水準や、求めている目標、そしてそれによって変容していく都市や人々の生活などがイメージされます。おそらくはニューヨークでもベルリンでもなく、紛れもなく北京が、世界のニュースの発源地になっていき、それは2008年の北京オリンピックを契機として一つの文化的な爆発をおこし、アジアの経済文化のみならず、それを境として世界の経済文化は大きな変容をみせるでしょう。そういう出来事が、ごく身近な場所で起こる日本は、その状況にどう臨んでいったらいいのでしょうか。これは現在の自分の悩みのようなものですが、そういう思いを抱えて、僕は審査会場に行きました。期待したのは、そういう衝撃に耐える日本のクリエイティブ、つまりスケールアップ

特別審査員 原 研哉

プしていくグローバリズムの文脈で、価値を発揮できる日本の独自性と強さを確認したかったのです。しかしながら、芯の強い、日本的な研ぎを持ったデザインに出会うことはできませんでした。日本自身が日本を消費している。そういう光景が目につき、気になりました。今回はグランプリが出ず、という結果になりましたが、壁に透明な丸いアクリルを象徴するという路面店のデザインは、アクリルを冷感して収縮させて壁にはめ込むという手法が印象に残りました。インランドリーの空間は、「日常の未知化」という視点にこなれた解決を与えている点、そして、デザインが一般社会に対してエデュケーションな力を持っている点に共感を覚えました。大きな仕事ではありませんが、このような着想が大きな規模のプロジェクトに結びついたなら、という可能性を感じました。

■選考点数一覧表

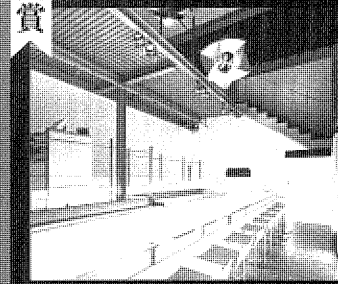
	応募総数			入選点数	入賞点数
	国内	海外	計		
1: 物販店舗	79	5	84	12	12
2: 飲食店舗	113	7	120	19	16
3: 大規模店舗	16	3	19	3	2
4: サービス・アミューズメント	67	4	71	14	9
5: 文化・公共施設	47	7	54	9	11
6: その他	14	2	16	2	3
合計	336	28	364	59	53

■入賞の内訳

大賞	準大賞	原研哉賞	審査員特別賞	優秀賞	新人賞	奨励賞
0	2	1	2	10	2	36

準大賞

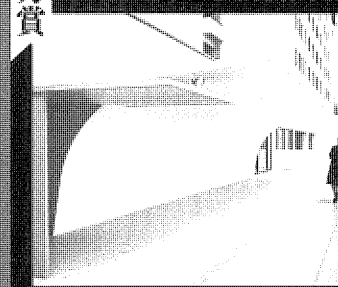
ビーンズダイニング“ソヤ”  
平沼孝啓



“SOYA”は食の素材を「豆」と原点においた飲食店舗です。そして5年後には解体することを前提とした、期間限定のプロジェクトです。この“SOYA”では、市場の影響を受けやすく、時代の流れに柔軟に対応していかなければならない商業施設のあり方を、「使用期限付き」という悪条件を使って示したいと考えました。それは、大きな空間を持つ建築物をつくり終えてから、その使い方や市場を拡大していく...というやり方に疑問を持ち、一機に建築をつくり上げるのではなく、市場が成熟してゆく速度に合わせてつくってゆくやり方に共感していたからです。そして解体においても、一機に潰すのではなく、市場に合わせて変化させながら分解してゆく、そういった建築のつくり方を実証し、商業施設の新たなつくり方を示したいと思いました。つまり固定的につくる建築やインテリアに対しこの“SOYA”では、柔らかい考え方で示すつくり方で実現することを試みました。

優秀賞

ガーデンテラス プリエ  
熊沢 信生、岩橋翼



唐津焼で有名なこの街は、海沿いに虹の松原が約5kmにも渡って弧を描き、松浦川が悠々と流れくんだり、唐津湾にはゆったりと波が打ち寄せ、木々で溢れる自然に囲まれる。既存ホテル2階の使用されていないテラスの再利用で、多目的に使用される。一体成形したアルミニウムパネルを壁から持たせた庇と、レベルを調整した床だけで構成されている。既存の宴会場ホワイエからの視線を避け、ホテル内からはオブジェのようなアルミニウムパネルだけを見せ、松浦川と唐津の街に向かって開放される空間とした。Open Airのコンセプトは、自然の取り込み。風や自然光を取り込むというもので、内と外の境界をぼかし、創られた空間でありながら自然に身を置いているような、人の五感を活性化させる事が狙いの一つである。今回のテーマは目の前に広がる壮大で豊かな自然を、目的に応じてどのように、そしてどれだけ多くの自然を空間に取り込むか、への挑戦であった。

優秀賞

VINCENT GALLO  
THE ART PROJECT IN KYOTO  
坂田弘一



寺社空間に展示会場を成立させるにはさまざまな障害がある。歴史・文化的意匠や意味で満ち、設備は何もなく、建物や庭を傷つけてもいけない。どのように個性的なギャロの作品と観客をその中に受け入れるかが課題だった。ギャロの作品はパーソナルな記憶を題材とする繊細なものである。そこで全体構成は、鑑賞体験を通じホスピタリティに満ちた寺社空間に抱かれたブラジルのギャロの存在を感じてもらうことをテーマとした。構成要素として石を着色しただけの誘導サイン、障子にヒントを得た建具枠にはめ込む展示壁、自立し照明として発光する展示壁、ホリゾン型照明などを製作。寺社空間の美しい景観を損なわず、また展示空間が寺社空間と対立することのないよう重層的にシーンが見通すことが出来、常に双方の空間の気配が感じ取れるよう、アプローチから大方丈庭、茶室に至る一連の空間に各要素を挿入し、自然に観客を誘導する展示空間を成立させた。

優秀賞

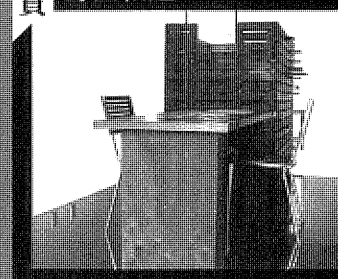
昭箱2  
佐々木一泰、松原美恵



フリーフォトグラファーへのオフィス空間を提案するにあたって、「撮影、デジタル処理、事務作業、打合せ、個人ギャラリー」などの行為に対して発生する異種多様な空間をどのように捉えるかを考えました。例えば撮影時の遮光といった問題などに代表される機能という機能を余剰に圧縮することで空間の可能性を引張り、後に行われた音と映像のイベントでは、壁面の棚はコミュニケーションツールとして、空間は境界のない舞台として人と人との様々なやりとりが交わされる様子を見ることができました。出来たものを見れば「当たり前のことを素直にやっただけ」ですが、モノを作るときにはそれが存在に値するかどうかに多くの神経を注いでいるので、この様な賞をあの場所が頂けたということは光栄なことだと思います。

新人賞

MARUTAMA BUILDING  
REMODELING PROJECT #1  
野口和之



居住者が大人1人という今ではもう特殊解にはならない生活様式の提案である。敷地は大阪にある商店街の一角で、1Fを店舗、2Fを倉庫、3・4Fを住居とした築約20年の建物の2Fを事務所+住居として改修した計画である。建物は、間口4m、長さ20mという平面形で間口が狭いため、廊下による構成とせうエリアの相互関係で構成した。入り口付近に作業部分、奥に居住部分を配し、公的、私的部分に接して上部に休憩(ベッド:私的)、下部に接客(公的)部分を立体的に配置した。応接部はベッド下に収納されていて来客時に出現する。また間仕切りはブラインドで仕切り、開口部の少ない部屋の通風を確保し、更にエリアを拡大縮小させることで変化のある空間を創造することができた。

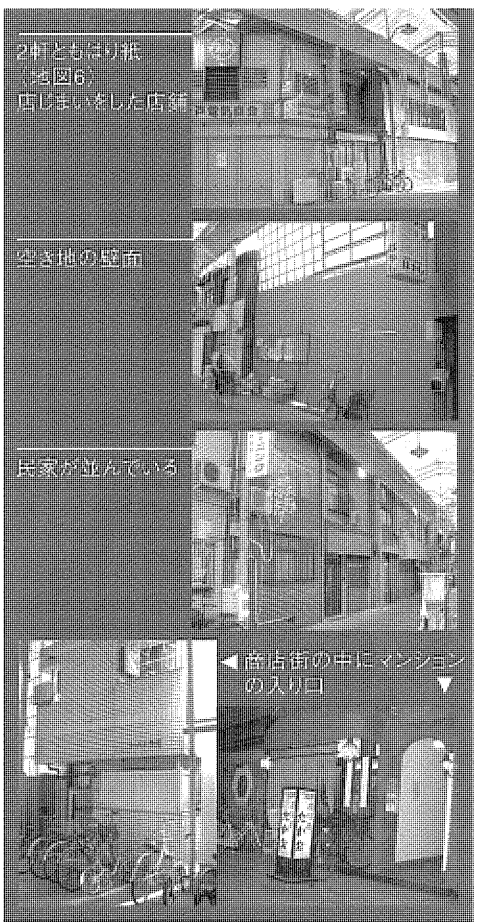


# 「これで商店街は蘇るか？」今里新橋通り商店街 PART-2

2003年12月15日、当委員会商店街研究『これで商店街は蘇るか?』をテーマに今里新橋通商店街合同視察会を行い2004年3月発行のJCD KANSAI Vol.55号にて視察状況を参加者各々の思いをPART-1として掲載した。PART-1に引き続き、新委員長/新メンバー編成の情報委員会で改めて現状分析を行い議論した内容を、誌上コラボレーションを通じ、JCD会員全員にも知っていただき議論の輪を広げ、ソフト・ハード両面から多くの意見/提案を取り込み「これで商店街は蘇るか?」を今後の推進テーマとしていきたい。

## 1.) 商店街を取り巻く環境と立地

- 地図(次ページ中段)からも分るように今里交差点に集まる幹線道路とバイパス道路に挟まれた三角地帯の中にあり、このエリアは陸の孤島になっている。信号のない場所での横断は危険で信号待ち時間も長い。今里が市電の終点であったころは、今里新地に行き来する道として賑わったが、この道を通って行く場所を失ってしまったのが現在の状況である。
- 三角地帯の面積の半分は大阪市営バスの車庫(地図1)/小学校(地図2)/今里会館(地図6)で占められている。
- 100住戸以上の大型マンション(地図3)がこの三角地帯の中にある、住人は向かいの大型商業施設LIFE(地図4)での買い物客が多く大駐車場も備え近隣からの集客数も高く商店街から100mの距離に立地。
- 400/500m先には鶴橋駅があり巨大な商店街を形成している。
- 三角地帯の中に東成図書館/東成会館/東成老人福祉センター(地図5)があり大部分の人は自転車で利用している。図書館や会館に来たついでに買い物と言うパターンになっていない。



## 2.) 商店街の今の状況

- こだわり老舗の奈良漬屋、レトロな雰囲気昆布屋、文具店、八百屋、酒屋、本屋、家具屋、時計屋、眼鏡屋、手作りとうふ店等、庶民的な商店街に相応しい店も点在している。これらの店の活かし方が活性化のポイントではないか。
- この商店街のアーケードやカラー舗装が完成した時から各店舗共有の設備等がメンテされていない。商店街の印象はうす暗く/古く/品揃えも限定的でこの商店街では日常のちょっとしたものを間に合す程度の客層と思われる。商店街の入口のゲート看板/アーケードや日よけテントなども汚くマイナスイメージに繋がっているのではないか。
- 今里交差点を起点として手前から順に利便性が高く飲み処が多い、路地まで飲み処が広がり下町情緒のある独特の雰囲気を作りだしている。奥に行くほど人の集まりは低くなるが、猪飼野方面の入口にも飲み処が集中している。三角地域住人の安らぎの場として密着度は高く活性化への条件として配慮すべきである。
- 商店街の買い物客は現状では三角地域の住人(買い物/飲食/飲酒)が中心だが、地域内/近隣マンション人口は多く外部からの来街者は車の通らない安全な通路として自転車で通過する人が結構多く今後買い物客としての取込みも可能ではないか。
- 8~10棟のマンションの玄関/空き店舗(10~12軒)/長い塀(3ヶ所)/物販以外の店(医院/不動産屋/塾)/民家(約10軒)/空き地等、店舗の連続性がないことが商業としての賑わいをなくさせ、マイナスイメージに繋がっている。
- また、居酒屋/小料理屋/スナック/麻雀店など夜間型の店が入り口付近にあり昼間の閉店状態は商店街にとってはこの人の気配のなさが昼間のマイナスイメージを作り出している。



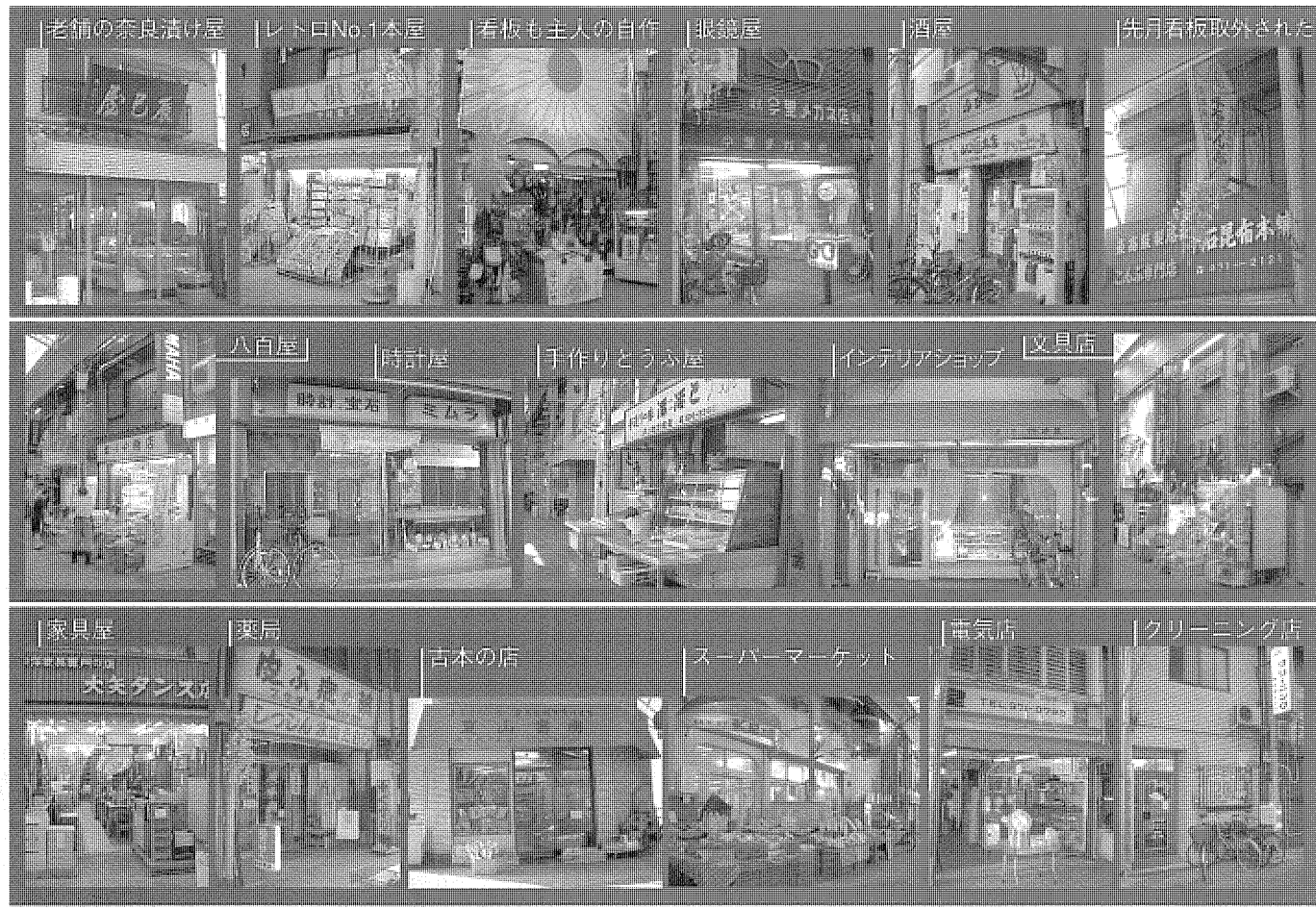


# 「これで商店街は蘇るか？」今里新橋通り商店街 PART-2

## 3.) 商店街の特徴

■この商店街が活況に溢れていた頃より今もその面影を感じるお店もあるが、時代の流れ／環境の変化に対応できずに廃業した店舗も多く見られる。そんな中でも地域住民に支えられ力強かたくなに商いしている店も多くある。

■この商店街は人情味に溢れ少しレトロで何か懐かしい郷愁のようなものを感じさせる魅力を持っている、と感じるのは私だけだろうか。一度みなさんも訪れてみて感想などお聞かせください。



## 4.) 各店舗の特色ある看板

■商店街の繁盛していた頃の看板が今も健在で、レトロな昭和40/50年代の看板もなお残っている。  
■商店街全体で統一した看板の多い今日、各店が各々に主張し

た看板が多く、ほとんどの店が同じ年代に作られたままで残っていて(電話の局番が3桁等)非常に面白く。この看板は今後の活性化へのヒントになりはしないだろうか。



## 5.) この商店街の特長 飲み処/飲食店

■商店街の今里入口/猪飼野入口付近及び路地に居酒屋/小料理屋が集中して夜の町として情緒ある雰囲気形成している。商店街の物販店より数が多いのが特長と言える。

■飲食店でも昼間営業しているお店は力餅/中華料理店等4~5軒くらいで後は夜間営業している。  
■地下鉄今里駅1km圏内住んでいる人や近隣に勤め先がある人の夜の飲み処として繁盛しているように思われる。



## 6.) まとめ

■1)~5)までの現状分析から商店街に対するいくつかのプラスイメージとマイナスイメージが確認できた。いずれにしても様々な課題がある商店街であるが、「薄汚い/汚れ/空き店舗」など、

施設のハード面のマイナスイメージの改善はすぐには実現しづらいので、実現性の高い改善提案のいくつかに絞り誌面提案する事を、今後あと3回の誌上コラボレーションとしたい。

写真/記: 三宅雅夫・岡島 昇



# 「ビジョン委員会とは？」

平成16年度関西支部事業計画において「若くて自由な発想により、時代に合わなくなったシステムを改革し、新しい価値観が芽吹く環境をつくっていく」という、いささか難解なテーマを持ち、新たに設けられたビジョン委員会では、6・7・8月に委員会を開きました。

何から手をつけて行けば良いのか暗中摸索の状況の中で、「役に立つJCD」を目指す事に主眼を置こうと考えています。“何の”そして“誰の”役に立つのかという事も含め、一年間議論をし、具体的にどのような行動を起こすのかを決めたいと思っています。以下、各会の様子を簡単に報告させていただきます。

## 第1回 6月1日/小泉産業(株)

- 仕事上でのトラブルに対応する法律相談ができるシステムが欲しい。
- 感性豊かな新人を企業より選出してもらい、チャレンジできる場を提供しよう。
- コアトークのパネラーの選出をする。
  - 業界人である必要はあるだろうか？
  - まず、テーマ設定が必要。
  - 20代のデザイナーによるトークセッションはどうか。
  - 責任を持って選出をするために、前もって当委員会に参加してもらおう。その際に、小セミナー形式をとり会員にも参加を呼びかける。・・・etc.
- ミラノサローネなどへの出展が容易にできるシステムが欲しい。
- 他団体との交流を活発化しよう。
  - その為に先陣を切って積極的にアプローチしよう。
  - 具体的なきっかけや方法は、今後検討する。
  - 上記の議題や提案、意見に対して、
- 関西の特性を活かした活動をしよう。
- 決して、結論を急がない。

という事を委員会内での共通認識としました。委員の参加がどのような状況になるのかという不安の中での開催でしたが、各人積極的な意見を出していただき予定時間を大幅に過ぎてしまいました。中には、「そろそろ退会を考えていた。」という方もおられました。白熱する意見交換の場に接する事で考え直していただいようです。場所を移しての二次会でも、仕事の話やJCDに対する期待や不満など様々な方面での会話が弾みました。

さすがに各方面で活躍中の委員のパワーは予想以上で、今後の委員会活動に頼もしく感じると共に、「まとまるんかいな？」という新たな不安が頭をよぎりました。

## 第2回 7月6日/大光電機(株)ライティングコア大阪

- 委員会への参加をしやすくする為、メールを使った方法を検討する。
- コアトークに関しては、例年通りパネラーを選出しながら、

- 前回議題に挙がっていた点について検討を重ねる。
- 会員の紹介や、業界の情報等を掲載した、JCD発行の雑誌を創りたい。
  - 以前にそのような雑誌があり、それをみてJCDに興味を持ち、憧れて入会した会員がいる。
- 日本国内だけでなく、海外で活躍するデザイナー(外国人)をセミナーに招聘するなどの形で、交流をもちたい。文化の違いによる、仕事への関わり方を知りたい。

規模の大きな話題が挙がり、予算や進行方法についてかなりの問題が予想されますが、今後の検討議題にしたいと考えております。

## 第3回 8月16日/京都

- デザインを学んでいる学生に対して、社会経験の窓口として、インターンシップやオープンデスクといわれる様な形式に捉われず、企業や事務所を紹介できるシステムをつくることはできないか。
- お盆休みの真っ只中という事もあり、委員会への参加者は少ない状況でした。
- 学生または教育機関へのアプローチに関しては、協会の定款や規約に抵触する恐れがある部分も考えられるので、具体的に議論を進める前に、十分な調査や理解が必要であると思われまます。

ただ、社会的認知度を高める事や、社団法人としての協会の社会貢献という点から観ても、これまでの規則に縛られる事で意見を潰す事がない様に議論を進めたいと考えています。必要であれば、定款等の改定も視野に入れたいと思っています。

「学生対象」の活動については、種々の問題が提起される事が予想されますが、《最前線で活躍するデザイナーによる生の声が聞こえるセミナー等を“公的認可を受けた組織の社会活動”として実施する》事でアピールし、情報を流す事などは可能な範囲かと思われまます。デザイナーの卵を、JCDにより近い型で感じてもらう事により、協会組織の裾野を広げる事にも繋がるかと考えていますので今後の課題にしたいと思ひます。

## JCD関西への活動参加の取組に関して

定款第3条に因る目的をもって設立された公益法人であるJCDの活動は、社会的認知も受け、又、会員の社会的地位の向上に寄与しているものと思われまます。

これ迄の実施事業も、その社会的役割を十分に果たしていますし、今後もより発展させ、継承してゆかなければいけないと考えまます。その為には、アクティブな会員を増やす事が必要に思われまます。現状においては、参加人員がある程度固定化されているように感じられまますので、その点を改善できればと思ひています。

商環境に携わる職能が多岐に亘り、又、社会情勢が低迷する現在においては、当然の事ながら会員の範囲も広がっていますので、個人の状況も考え方も仕事に対するスタンスも様々です。以前の様に本当の意味でのプロフェッショナルやスター的存在の一部の方のみが業界を牽引している状況では無いのが現状です。

唯、諸事情もあるでしょうが、現実には活力を持って様々な行事に参加して頂いているメンバーが限られているよう

に見受けられまます。それは計画事業がマンネリ化している訳でもなく、事業行事自体に魅力が無いのでもなく、唯、関心を持ってないだけの様に思ひまます。会員の巾が広がったおかげで、各々の興味も範囲が広がっているため、その触手をくすぐる事ができれば、参加意欲も自然と湧いてくると考えられまます。それぞれ、高い能力を持っている人達の集まりなので、勿論その見識も相当のものだと考えて当然でしょう。そうしたものを表現する場所を持たないだけの様に思ひまます。何とか、“機”に触れる場を持てれば・・・と感じまます。ビジョン委員会においては、文頭で申し上げた目的を何らかの方法で現実の形にすると同時に、既存・新規に関わらず会員の増強に関しても上記のような考え方で取り組んでゆこうと考えています。

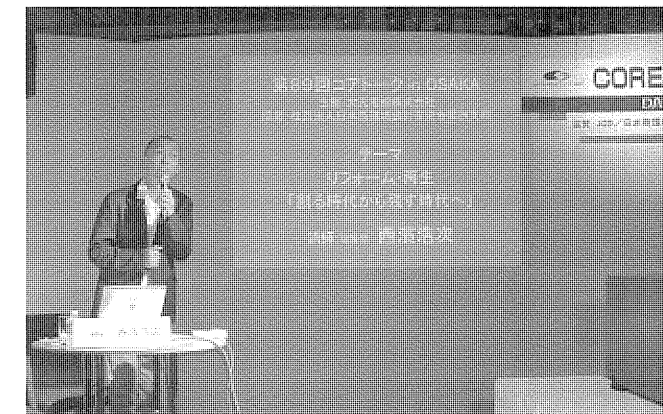
会員の方々の協力なしには不可能な事ばかりですので、日々の業務で忙しいとは思ひまますが、できる限りのお力添えを期待しておひまます。

ビジョン委員会 末浪伸浩

## 第89・90回 コアトーク in OSAKA

中尾晋也

89th JCD関西支部ビジョン委員会がサポートし、JCD関西支部協賛で大光電機が主催する「第89回コアトークin OSAKA」が7月28日、賛助会員の大光電機ショールーム「ライティングコア大阪」で開催された。当日は建築家の西濱浩次氏(コンパス建築工房代表取締役社長)を講師に招き「リフォーム・再生『創る時代から残す時代へ』」をテーマに、とりわけ氏は「贅沢な設備や材料よりも、自然を肌身に感じながら、ひとりひとりが生活を楽しむことができる空間を大事にしたい」と語られた。



引き続き8月27日、「第90回コアトーク in OSAKA」が建築家の橋本健二氏(JCD会員)を講師に迎えて「健二と心象 ~設計を通しての日々の思い、考え方、心象について~」をテーマに、「これまでいろいろな展開をしてきたが、私としては遊び心を加え、その一方でシンプルすぎず、私なりの味を加えていく」「どんな作品を作る時でも、“自分なりのテイスト”を意識しながらやっている」と氏が現在考えていることを中心に語っていただいた。

## 90th



## 研究委員会小セミナー

研究委員会では、JCDメンバーや関係者の皆様の日々の仕事や関心事に対して何かの刺激になるようなことをやっていきいとの思いから、様々なジャンルで活躍している方々を講師に迎え、「プチ・セミナー」を年に数回の予定で開催することを企画しています。

第一回目のセミナーは、東京中心の出版界にあって、大阪に本社を構え、最近「大人組」「味人」など関西発の大人向け雑誌を数多く発行し、7月には新たに「クラシズム」を創刊された、株式会社ジ・アースの渡辺里美氏にジャーナリストの視点から出版界の実情や、雑誌編集におけるデザインのあり方など幅広いお話をお伺いしました。以下にその要点を記します。

## 「雑誌編集における写真とデザイン」

## 感動を伝えたい

学生の頃、探検部に所属していた渡辺氏は、そのいろいろなところに行って見聞きし、感銘を受けたことを誰かに伝えたいとの思いから、出版の世界に入ったとのこと。今でもその思いは変わらず会社名「ジ・アース」には地球上のことにはなんでも「いっちょかみ」していこうとの思いがこめられている。



研究委員会主催 第一回小セミナー  
日 時:平成16年8月9日(月)午後6時30分～  
場 所:ヤマギワ大阪・インテリア館2階ライブオフィス  
講 師:株式会社ジ・アース 代表取締役渡辺里美  
参加者:22名

## デジタル万引き

今、雑誌が売れなくなっている。デジタル万引(書店で雑誌を買わずにカメラ付き携帯電話等で雑誌の必要な部分を盗撮すること)が増えてきている。また、人のライフスタイルが多様化し、雑誌もそれに対応するには多様化せざるを得なくなっている。いろいろ出版して、当たるのを待っているような状況にある。読者が定期的に購入する雑誌がなくなっているのも出版不況の要因。

## 取材される側が雑誌媒体を選別する時代

雑誌は、一般的に首都圏で約50%が消費され、関西エリアでは、14%程度のシェアである。しかし、リージョナル誌「kansai walker」が出版され、とんでもないモンスター雑誌になった。関西エリアだけで40万部以上の販売を記録。その結果、雑誌が情報商社化し、情報のたれ流しが始まった。取り上げた店の良し悪しはいつでも良くなり、とにかく早く情報を流すことが全て。編集者が編集者でなくなっている。

一方、取材される店舗も2極分化し、良識のある店は、関西ウォーカーなどの取材は拒否。すなわち、取材される側が媒体を選ぶ時代になってきた。

## ネットに負けない雑誌作り

これまでの雑誌の編集は、取材対象の店については必ず実際その店の料理を食べて判断評価して取り上げてきた。自腹を切っても良い店を探した。今はそんなことはしない。ネットで調べている。しかしネットにない良い店が有る。本当に良い店を知るには友達を一杯作ること(情報ソースを沢山持つこと)。ネット検索は最終確認のためだけに使うべき。そうでないと雑誌がネットに負けていることになる。ネットに負けない雑誌作り。ネットとの違いをどう出すかが雑誌編集の課題である。

## デザイン力が勝負の鍵

こんど10月には「デザイン主義」という雑誌の出版を予定している。照明デザイナーやグラフィックデザイナーに車をデザインさせるような企画も考えている。今日、話をしようと思ったテーマの中に、雑誌というものがデザインされているものであるということを理解してほしい。画一的な紙面構成や写真構成ではダメ。取材に行った時には必ず印象に残る何かがあるはず。それをどう表現するのがデザイン。社の連中には、心に残るようなシーンを大切に取材してくるよう



紙面構成の大切さ。見せ方が大事。全てにデザイン力が要求される。どんなシーンが感銘を与えるか。カメラマン、グラフィックデザイナーも真剣勝負で取り組んでいる。広告主の公告紙面も非常に挑戦的な表現になってきている。それに負けないような表現力が要求される。

## 「回読率」を高める!

雑誌の評価について、販売部数とは別に「推定読者数」という考え方がある。我々の雑誌は回読が多い。一冊の雑誌をできるだけ多くの人に見てもらおう(推定読者数を増やす)努力が大切。書店に出回る前に200店舗のヘアサロンに雑誌を送っている。ヘアサロンは回読率が高い。(ウェイトングの時などに見る率が高い)また読者サービスにも心がけている。

## 売れなくても出版

「大人組」「味人」「クラシズム」などは、売れてほしいと思って出版しているが、介護雑誌「コムスン」は必要性を感じて出版している。いまは購読を希望する側にも取材される側にもためらいがあり、購読に結びつかないし取材拒否にあうことも多い。しかし、継続して出版していくうちにわかってもらえるだろうという気持ちもある。

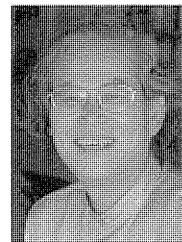
実は、雑誌は余り儲からない。会社を運営するために編集プロダクションの仕事と、雑誌出版の仕事を平行して進めている。独自の販売ルートを使って出版し、本という媒体を使ってもっといろんな取り組みができると考えている。

研究委員会 久保田博文





羽原清明・三宅雅夫

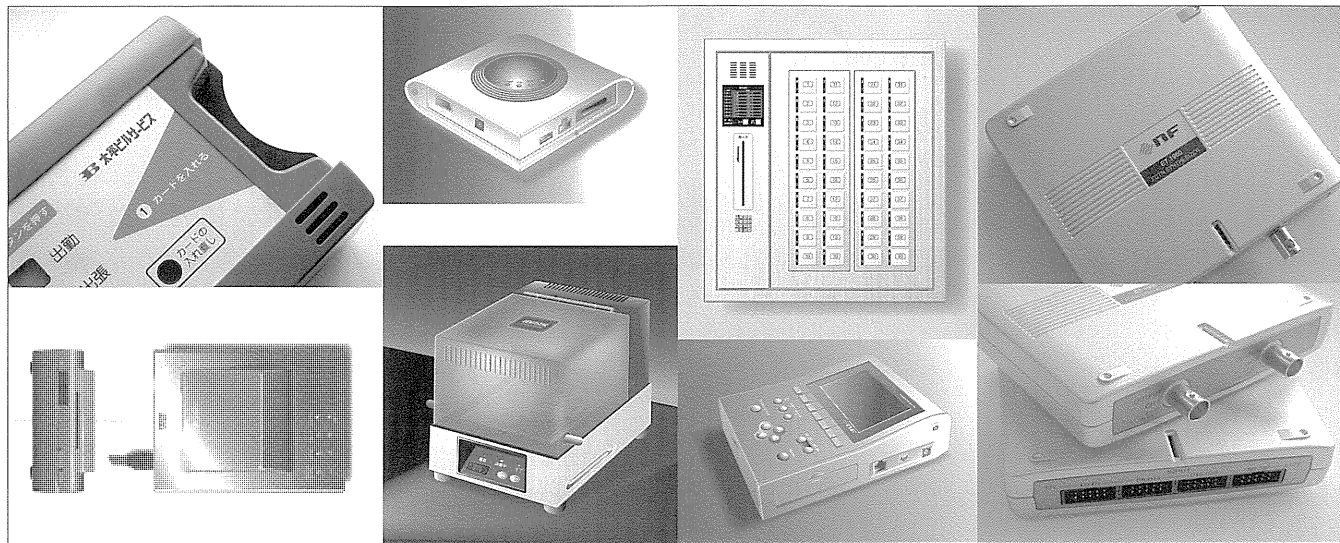


羽原清明

家電メーカー在職中 JCDには賛助会員としてお世話になりました。退職後、2002年3月デザイン事務所開設と同時に、今度は JCD個人会員に入会させていただきました。我々の事務所はインダストリアルデザインが本職ですがデザインに関する仕事であれば何でもやらせていただくことにしています。我々のデザインの基本は商品開発の初期段階から参画し、その商品のあり方、使い勝手の追求と装飾を排したマイナスのデザインを追求、商品が完成するまで関わります。これが二人の取組み姿勢です。お近くまで来られた時はお立ち寄りください。



三宅雅夫

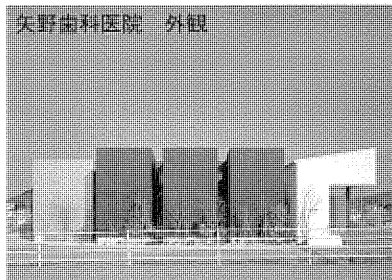


Be-TECH ビー・イー・テクノロジー株式会社 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-4-10丸忠第2ビル707 TEL:06-4964-4717

平岡孝啓

今までとこれから

2000年の開設より、自ら“快適”と実感できる空間のみを提案することにより、施主に対して誠実であることを心がけてきました。施主の要望から大切なことだけを抜き出し、潜在的な要求に発展的に応える計画を実現させるようにしています。取り入れるべきでないと思う要望は排除するわけですから、施主との関係に緊張感もありました。“安定感のある快適”を追求するゆえの流行から距離をおいた計画の解りにくさや、私自身の実績不足による不安感が、施主の納得を妨げていたかもしれません。しかし、解らないままに任せてくれる施主の懐の深さにしばしば助けられ、一段ずつ登りながら、人並みに予算が使える依頼も増え、ようやくスタイルのバリエーションを増やしていけるスタート地点に立てたという感じです。今後は私の中で固着しがちな“快適”のイメージを解放して、解りやすい説得力でもある“時代を味方につけた多様な快適”を実感し、課題としてデイティールの精度を高めながら、新たな作風を展開していこうと思っています。今後ともご指導よろしくお願いいたします。



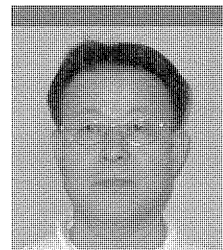
平岡建築デザイン 〒542-0081 大阪市中央区南船場4-10-4-501 TEL:06-6253-3737



矢野歯科医院 待合室

矢野歯科医院 診察室入口

担当 里吉 明



西原勝

西原デザイン事務所  
〒720-0836  
広島県福山市瀬戸町長和673-1  
TEL (084) 951-6482  
FAX (084) 951-6485  
E-mail: nishi-do@modha.ocn.ne.jp  
（社）日本環境設計家協会  
中国支部 支部長  
趣味 旅行・酒

2年前、腰痛（ヘルニア）で、4ヶ月入院生活を送り日頃の運動不足を反省し、退院後は事務所まで1.5kmを徒歩で通っています（約15分程度）

一部には田畑のあぜ道を通ります。毎日少しずつの稲の成長も歩いていればこそよく見えます。季節の風のおいの違いもよくわかります。そしてもう一つサイクリングを始めました。

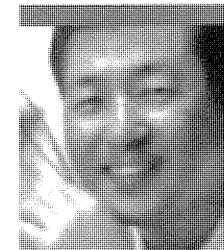
私は瀬戸内海の沿岸（三原市）で育ったのですが、あらためて瀬戸内海の歴史・文化を探してみよう（立前）と思立ち、仲間3~4人で一周道路のある、まずは広島県内の島ということでスタートしました。インターネットであらかじめ情報を検索しルートはスタート前に天候や気分を決めます。今や12の島を廻りました。

一周5km~60kmと大小さまざまで、地図にはない起伏や風向きと格闘しながらも穏やかな瀬戸内海の景色を楽しみながらマイペースで走ります。楽しみは小さな港町の食堂でおばちゃんの話の聞きながら小魚料理でビールを飲むのはサイコー（本音）。ここで飲みすぎると後半に堪えるのはいつも分かっているのだがつつい...

島には昔と変わらない生活がゆっくりと流れているのです。古い集落、路地、伝説の神社等、何か懐かしい雰囲気漂っています。島の夕焼けはとくに感動ものです。11月には13番目の島、大三島（愛媛県）を目指します。そこには大山祇神社があり、古くからの海の神、武人の神として多くの武将の信仰を集めてきた日本総鎮守。

数々の武将が奉納した武具類が所蔵されており、全国の武具の国宝重文の約8割が、境内の宝物館で、保存展示されている。大三島が国宝の島と呼ばれる由来はここにあり、中でも源頼朝・義経が奉納した鎧が有名。水軍の資料などを展示する海事博物館も併設されている。瀬戸内海には、数千の島があると言われます。今から先何年かかるかわかりませんが体力の続く限り走ってみます。よかったら、一緒にどうですか。

Endless Mrathon Communication



伊藤清志

丹青社東北支店  
〒980-0014  
仙台市青葉区本町2-1-7本町奥田ビル9階  
TEL (022) 264-0764  
FAX (084) 022-261-7012  
E-mail: kito@tanseshi.co.jp  
（社）日本環境設計家協会  
東北支部 支部長  
趣味 コルファ・美術鑑賞

関西支部の皆様はじめまして、今年度より東北支部の支部長を拝命しました伊藤です。よろしくお願ひします。と挨拶もほどほどにして、自己紹介もなんですが皆さん東北地方のイメージはどのように感じられていますか、今回は東北地方の宣伝をさせていただきます。

「桜・紅葉」東北地域は日本の中でも、とりわけ四季の変化がはっきりしていて、豊かな自然を満喫できる地域です。また南北の距離が台湾よりも長く（岩手県の面積は15,278kmで四国地方ほどあります）約500kmもある為、春の桜は4月上旬に南で開花し、徐々に北上し5月上旬まで楽しむことができます。逆に秋の燃え立つ紅葉は、9月下旬に北から始まり1ヶ月以上の月日をかけて南に下がってきます。

「祭り」東北各地には独自の歴史と伝統を持った多彩な魅力のある文化・風土があります。夏には、「東北5大祭りと証され」「5,000台の太鼓が舞う岩手さんさ踊り」「365万員の観光客が集う青森ねぶた祭り」「一万個の提灯が一斉に立ち上がる秋田竿灯まつり」「一万人が踊り歩く山形花笠まつり」「1,500の竹飾りが日本一美しく規模が多きいショッピングモールを彩る仙台七夕まつり」など各地で絢爛豪華な祭りが繰り広げられ、冬の浪漫あふれる雪国の祭りや樹氷など白銀の世界での様々な体験など、一年を通して多彩な魅力を楽しむことができます。

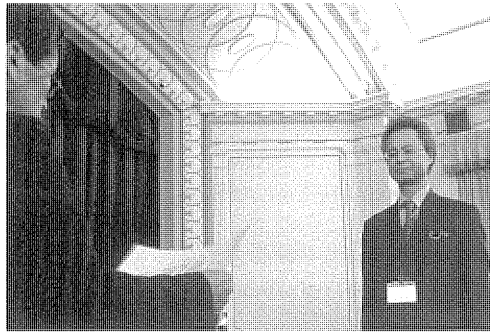
「温泉」心からくつろげることの出来る秘湯・名湯が651箇所あり、新緑・紅葉・雪景色を楽しみながら入浴ができます。また湯巡りを楽しめる温泉地もたくさんあります。日本のベスト100には東北が29箇所入っいて、やはり日本一の温泉処です。

「食べ物」寒流と暖流とがぶつかる東北の海は、世界の四大漁場といわれるように、豊富な魚介類に恵まれていて、美味しい郷土料理を味わうことが出来ます。特に中国料理に欠かせない「フカヒレ」は宮城県の気仙沼（私のふるさとです。）が名産地です。また、りんご・もも・ぶどう・さくらんぼなど種々の美味しい果物を味わい、また、果物狩りも体験できます。ぜひ発見・感動の風景を訪ねて仕事以外でお越しください。お待ちしております。「お待ちしております」のもう一つに、今年の10月22日（金）・23日（土）に第4回目になります東北支部デザインキャンプin福島を開催します。福島県の裏磐梯で、会津の歴史や五色に見える湖を探索していただき、美味しい蕎麦を堪能して、宿泊施設として大正浪漫あふれる海産物問屋を改装した施設で、デザイン談義に花を咲かせていただきたいと思います、ぜひお時間が、あればご参加していただきいろいろ情報交換をさせていただければと思います。よろしくお願ひします。



関西支部総会

交流委員会 市川 邦治



平成16年6月14日(月)登録有形文化財である、社団法人日本綿業倶楽部(綿業会館)にて、平成16年度関西支部総会を開催。会館の見学会後、17:30より支部総会、前支部長山田氏より新体制の説明があり、新支部長白井氏が、新生関西支部“次世代へのアプローチ”をもとに各委員会の名称を活動内容に合致させる、次世代リーダーを中心としあるべき姿を再認識する“ビジョン委員会”を新設する等、支部活動計画の報告。副支部長金沢氏より大菅氏の本部功労賞受賞の紹介と本部報告。里吉理事より現況財務報告。野村前理事長よりご挨拶をいただいた。各委員会の活動報告に移り、交流:市川、研究:久保田、広報:前田、ビジョン:末浪の各委員長から計画発表があった。支部長より新入会員平岡氏、廣内氏ならびに、新入賛助会員ニチエ(株)、三協アルミニウム工業(株)紹介と、昨年度支部活動にご協力いただいた、大光電機(株)、(株)タジマ、(株)サンゲツ各社ご代表の方に感謝状と記念品が贈呈された。

18:30より懇親会が開催され来賓のJID清家様、KIPA加藤様よりお祝いのお言葉を頂戴し、(株)サンゲツ広瀬様の乾杯の音頭で開宴、好例の賛助会員商品PR会、くじ引き大会など。定刻少し前に料理も綺麗に片付きお開きに。

会場の綿業会館について

昭和6年(1931年)12月に竣工し、翌年1月1日に開館、設計は渡辺節氏、ヘッドドラフマンには村野藤吾氏が参画。各部屋のスタイルを変えたのは、世界各国の来賓や会員の好みに応じて部屋を選んでほしいという設計者の配慮による。様式のみならず将来の冷暖房の普及を予測シタケを太くして内蔵、井戸水による冷風送気を行う、将来のために地下には冷暖房設備スベ

スを確保。また窓には鋼鉄ワイヤー入り耐火ガラスを使用していたため戦火をまぬがれた。この建築はデザイン面の素晴らしさだけでなく、設備面でも先駆的な試みがされている。鉄骨鉄筋コンクリート造り、地下1階地上7階建て、敷地面積1160平方メートル、延べ床面積は6046平方メートル、62年には新館を増築。97年(平成9年)国の登録文化財に指定。  
(社)日本綿業倶楽部パンフレットより抜粋

新緑のるるぶ会 馬籠妻籠探訪スケッチの旅

小宮容一



6月5日(土)の早朝いつものように大阪中央郵便局前から乗用車3台で岐阜県恵那郡明智町大正村に向かう。明智町は明治末から大正期に蚕業で栄えた町でした。その後衰退した村を、現在「村おこし」して、役場や銀行や蔵を保存・再生している。昼食後、早速それぞれにポイントを探してスケッチにかかる。天気は快晴、成果を上げる。夕刻、今日の宿泊地恵那峡を観光の後、グランドホテルに入る。恵那峡を見下ろす露天温泉を満喫。体もリフレッシュして夜の宴会は、お酒が進む。無論朝風呂も。

翌日は雨。しかし、るるぶの会員は雨にはめげない。まず、馬籠でスケッチを1枚。移動して妻籠へ、昼食に美味な蕎麦をいただき、活力を付けて、スケッチを1枚。ここは観光名所、バスで観光客が繰り込んで来る。描いている側から覗き込む粋人もいて、なにやかやコミュニケーションができる。これもスケッチ旅行の楽しみである。土産を買って、コーヒー飲んで帰路についた。メンバーは、ほんとに温かく楽しい方々。また、幹事の金沢氏の心行き届くセッティングに感謝、感謝です。

JCD Beer party 夏のビアパーティーを企画して

交流委員会 亀井克二

今回のビアパーティーは、少し嗜好を凝らして実行しようと委員会で企画され、河口に位置するボートハウス・バーをその場所とさせていただきます。心配された台風などによる天候も、雨の日雨の日の中日で幸いに影響も受けず親睦パーティーを催す事が出来ました。特に今回は、大阪の川にこだわって場所も道頓堀を海の方に下った河港に浮かぶ船の上。又、講演も川にこだわり、川への知識もたっぷりの「川の講師師」藤本増夫氏に依頼し、日常、橋の上を通過するだけで見過ごされている川の持つ魅力と、街づくりに果たすその重要な役割などをお話頂き、又、会員、賛助会員の交流を深めると言ったものでした。講演開始前から、一杯の生ビールと焼き鳥をサンセットを見ながら味わってもらい、ボートの上で、藤本氏の大坂の街の歴



史的な発展に如何に川が深く関わってきたか、様々な角度からスライドも交えてお話を伺うことができました。その後、ボートの外部で焼かれる焼き鳥などをほうばりながら街中では味わえない雰囲気気分が高まったのか、近年になく賑やかで楽しい会になり交流を深める事が出来たのではないかと思います。また、途中、ボートハウスのオーナー山崎様のご厚意で飛び入りに講演もしていただき、この摩訶不思議なスペースを実現させた意図などをお聞きした上、トリオのバンドも演じて頂きアンコール、アンコールの声の中、遅くまで賑やかに楽しいパーティーになったのではないかと思います。参加された皆様は、いかがでしたでしょうか?楽しんでいただきましたか?

Needs & News



●いいインテリアのある場所には、いい生活がある。  
壁紙・カーテン・床材・イス生地...  
サンゲツなら、たくさんの商品の中からお気に入りのインテリアがトータルに揃います。  
さあ、あなたも素敵な部屋づくりはじめてみませんか。

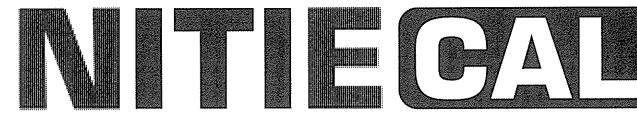
株式会社サンゲツ ホームページ <http://www.sangetsu.co.jp>

●本社/名古屋店 TEL.052-564-3111 ●東京ショールーム TEL.03-3505-3300  
●名古屋ショールーム TEL.052-564-3225 ●大阪ショールーム TEL.06-6440-5011

商業空間の演出に、ブランドイメージの定着に、企業アイデンティティの主張に。

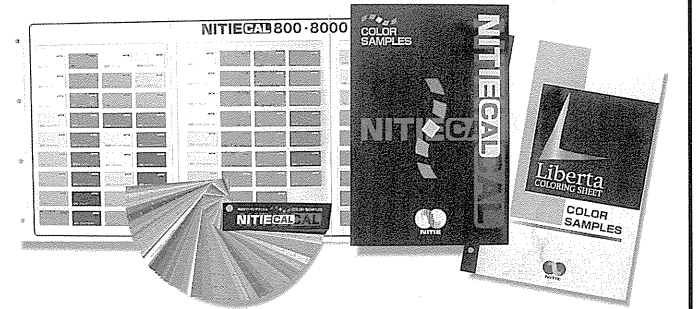
人々の目を楽しませる鮮やかな色彩、豊富なカラーバリエーションが、効果的な企業PRとセールスプロモーションを実現します。  
ニチエは、多彩な視覚表現をトータルにサポートいたします。

高品位マーキングフィルム



屋外5年耐候一般色  
NITIECAL No.800・8000 シリーズ  
【全136色】

屋外5年耐候電飾用  
NITIECAL No.6600・6700 シリーズ  
【NC6600 半透明 38色/NC6700 透明 29色】



■ 製品に関するお問い合わせ、カタログ請求等は下記の弊社営業部まで、お気軽にお問い合わせください。

ニチエ株式会社 大阪本社 〒532-0033 大阪市淀川区新高1-6-28 TEL06-6399-6601 FAX06-6399-7501  
東京営業所 〒162-0044 東京都新宿区喜久井町19 TEL03-3202-5481 FAX03-3203-6735

<http://www.nitie.co.jp>

編集後記

今回は情報委員会から広報委員会に名称が変わり、会員の方だけでなくより多くの方にJCDを知って頂き、また、会員の方にとっても役に立つ誌面をめざして編集したつもりです。

が、「どこまで出来たか?」いささか疑問です。これからも「役に立つJCD」の広報誌として多くの方々に手にとってもらえるような「JCD—Kansai」になればと思っています。いろいろな方に記事等お願いし、ご迷惑もかけましたが、これからもどんどんお願いしたいと思いますので宜しくお願いいたします。

また、次号に向けて「こんな記事がほしい」「こんな記事が作りたい」等ありましたら、広報委員会まで御一報ください。

広報委員長 前田穂積



Lighting & Effect System  
演出照明

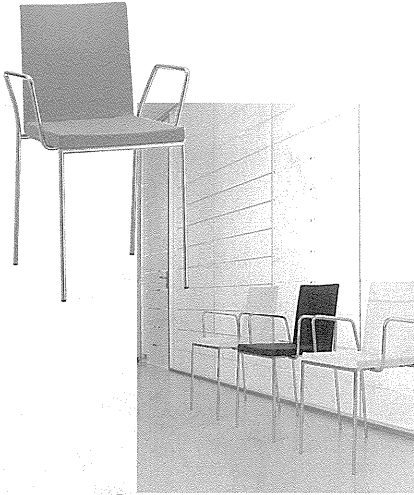


小さなスペースでもパワーを発揮する、コンパクト設計の本格派。  
組み合わせは自由自在。ご予算レイアウトに合わせてシステムアップも思いのまま。  
操作はやさしく、施工も簡単。プロ並の照明が手軽に実現できます。

**株式会社 日照**  
〒566-0035 大阪府摂津市鶴野3丁目8番7号  
TEL 072-634-1231(代) FAX 072-634-1239  
E-mail: info@nissho-osk.co.jp http://www.nissho-osk.co.jp

# Needs & News

**AIDEC MODERN**



**AIDEC**  
株式会社 アイデック  
〒550-0013 大阪市西区新町1-10-2  
大阪産業ビル/大阪ショールーム  
tel 06-6534-0258  
fax 06-6532-4876  
URL: http://www.aidec.jp

**WOODLINE**

木目調・石目調ホモジニアスビニル床タイル  
ウッドライン5000  
ウッドライン3000  
マティル5000  
マティル3000

2004年新品発売  
圧倒的な色数を誇るベストセラー。  
ハイグレードな商空間を演出いたします。

心地よさ 知的  
ナチュラル モダン  
スロー&クール

床を飾る **TAJIMA**  
株式会社タジマ  
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5  
TEL 06-6441-5951 FAX 06-6444-2596  
http://www.tajima-inc.co.jp

**MATIL**

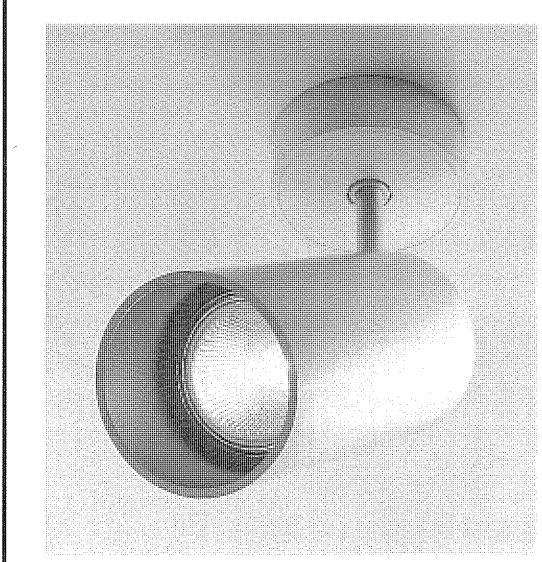
やすらぎを演出する色彩と深みのあるテクスチャー。  
ナチュラルからモダンなテイストまで。

イーリス

グラフィックタイルカーペット  
**GXシリーズ**  
高いデザイン性と、豊富なバリエーション。  
商空間へ彩りを添えます。

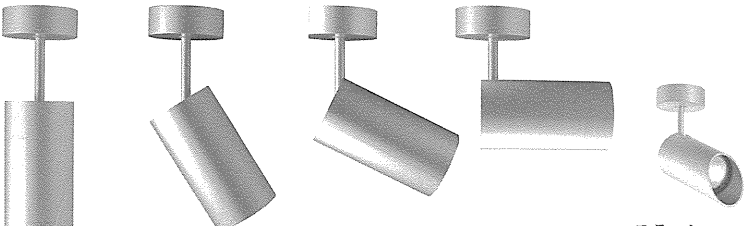
バリエーションは、12種類。  
その他に空間構成にかかせない無地タイプ26色のカラーパレットGX200もあります。

**TOLI** 東リ株式会社  
(URL) http://www.toli.co.jp



**TUTU SPOT SERIES**  
あらゆる空間にフィットするシンプルフォルム。

円筒形のもつミニマムなシルエットを採り入れ、シンプルデザインを追求したアルミフードのスポットライト。  
カラーはホワイト、ブラック、アルマイトの3色。  
オプションでカラーフィルター、スラッシュフードをご用意。  
光源にはミラー付きランプの4タイプを揃え、用途に合わせて配光が選べます。



スラッシュフード (オプション)

**maxRAY**  
A Harmony of Light and Space

店舗照明の専門メーカー  
**マックスレイ株式会社**  
大阪府城東区鶴野西2-18-6 〒536-0014  
TEL 06-6967-0140 FAX 06-6962-5988  
ホームページ <http://www.maxray.co.jp>

東京 03-3791-2711 大阪 06-6967-0123 名古屋 052-252-9556 福岡 092-431-7824

インテリアの表情を決める。

アボールド  
ABORDのファニチャー

**株式会社キノシタ** <http://www.kk-kinoshita.co.jp/>

- 本社・ショールーム 〒535-0905 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22  
Tel.06(6641)5541(代) Fax.06(6641)5544-5563
- 東京支店 〒114-0014 東京都北区田端1丁目11番1号陽気ビル1階  
Tel.03(5682)5401(代) Fax.03(5683)4492
- 名古屋営業所 〒453-0935 名古屋市東区曾根3丁目26-4  
Tel.052(624)6660(代) Fax.052(624)6662
- 出張工場 〒693-0043 鳥取県田代市長浜町516-43  
Tel.0853(28)4311(代) Fax.0853(28)0450

**NEW WAVE A SENSE OF LIFE KOIZUMI**

眩しくない。  
互光へのこだわり-ATTRACTA Optical Hood

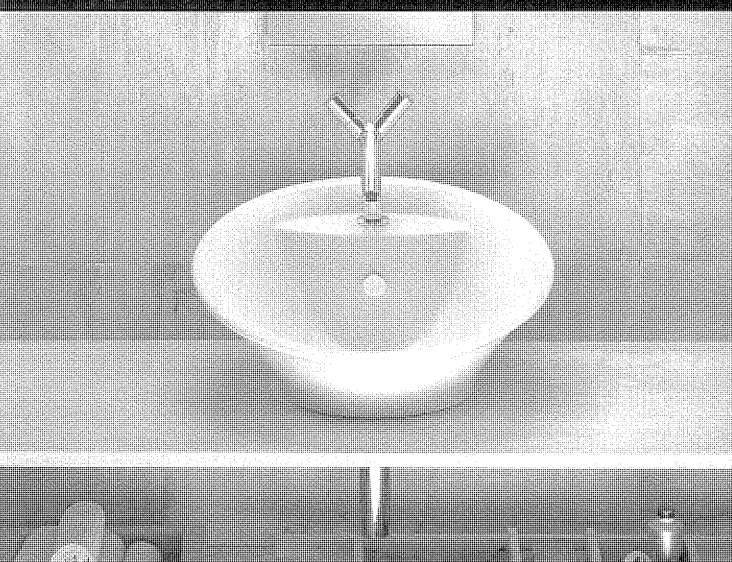
眩しさを抑え、互光を軽減する。ATTRACTA Optical Hoodは、LED照明器具の光を柔らかく広げ、目の疲れを軽減し、快適な空間演出を実現します。

**NEXTVIEW**  
ATTRACTA Optical Hood

LIGHTING PRESENTATOR - KOIZUMI 感性をかなす、あかりへ。

**小泉産業株式会社**  
照明分社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3-7 東京支社 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-12  
近畿店舗開発営業所 大阪市中央区備後町3丁目3-7 〒541-0051 TEL 06-6266-4821 FAX 06-6266-4826  
<http://www.koizumi.co.jp/>

アドヴァンのショールームは、選りすぐった「良いものを世界から」集め、ハイセンスな商品約5,000点を常時展示しています。  
プロの設計士はもちろん、インテリアコーディネーターや一般の人まで、あらゆる分野の方からご利用いただいています。  
ぜひ一度ご来店の上、実物に触れてみてください。




大阪ショールーム  
〒542-0082 大阪市中央区鶴之内1-21-22 共通ビル  
TEL 06(6245)0975(代) FAX 06(6245)0976  
<http://www.advan.co.jp/>

**ADVAN** 株式会社 アドヴァン



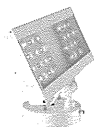
# National

音や映像とダイナミックに連動。  
LEDフルカラー・イルミネーション。

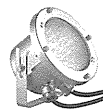


なんばパークス 商業棟 パークスムーン(大阪市浪速区)  
屋外庭園と大規模商業ビルが融合した「ミナミ」の新名所。RGBの制御だけでなく音楽と連動したLEDフルカラー演出をトータルプロデュース。ランドマークにふさわしい「夜景」を生み出しています。  
事業主:南海電気鉄道株式会社・株式会社高島屋  
設 計:(株)大林組本店一級建築士事務所/施 工:大林組JV

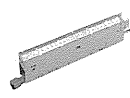
光の3原色—RGBを自在に制御し、フルカラーで演出。近景から遠景まで、色鮮やかなLED照明をトータルにご提案します。RGBすべての光色の組み合わせで、1670万フルカラーの色彩表現が可能。豊富な器具ラインアップに加え、規模や内容にあわせた照明演出のための制御機器もご用意。長寿命・省エネの次世代照明LEDが、多彩な照明演出をトータルに支援します。



角型投光タイプ



水中タイプ



ラインタイプ



スクエアタイプ

## カラー演出用LED照明システム 〈アールジービープロ〉 RGB PRO.

\*エバーレッズが受賞しました



**EVERLEDS** LED演出照明をトータルサポートする松下電工のLED照明器具エバーレッズ

専用カタログをご用意しています。ご請求は、〒571-8686 松下電工(株)照明事業分社 マーケティング・デザイン総合部(住所記載不要) TEL.06-6908-1131(大代表)。インターネットでより詳しい情報がご覧いただけます。 <http://www.mew.co.jp/Ebox/everleds>

National 松下電工、NAIS 松下電工 は National ブランドに統一します。

松下電工